



带状疱疹ワクチン 公費助成の定期接種へ!

公明党の連携で、国の動きを後押し

高齢者の健康を脅かし、生活の質を低下させてしまう带状疱疹の予防にはワクチンが有効ですが、2回接種で合計約4万円と高価です。全国各地の議会において、公明党が議論をリードして独自に一部助成を導入し負担軽減を図る一方で、公明党横浜市議団もこうした動きと連携し、定期接種化の実現を求めてきました(下記年表参照)。この度、厚生労働省の専門家会議においてワクチン接種の有効性や安全性が確認され、定期接種化の方針が示されました。今後対象年齢や開始時期などを検討した上で正式決定されます。

带状疱疹ワクチンの定期接種化を求める 公明党横浜市会議員団と横浜市の動き



▲定期接種化について要望(R4年10月14日)



▲市長が厚労省へ要望(R4年12月19日)

令和4年 10月14日	令和5年度予算要望と合わせ、定期接種化を目指すよう要望
12月19日	市長が厚労省へ定期接種化と財源措置を要望

令和5、6年度横浜市内での罹患状況等を調査

令和5年 7月、11月	市長が厚労省に重ねて要望
-------------	--------------

令和6年 6月20日	厚労省専門家会議でワクチンを定期接種に含める方針を了承
------------	-----------------------------